【東北電力情報 Ｎｏ．９１】

より、そう、ちから。 東北電力

平成２９年３月２３日

「水素製造システム」の運転開始について

～水素製造技術を活用した再生可能エネルギー出力変動対策に関する研究を開始～

当社は、再生可能エネルギーの更なる導入拡大に向け、昨年７月より、水素製造に関する研究を行うための「水素製造システム」の設置工事を進めてまいりましたが、本年２月までに主要機器の搬入・据付工事を完了し、試運転等を経て、本日より運転を開始いたしました。

当社は、本日より平成３１年３月末までの２年間、本システムを活用した研究を実施してまいります。

再生可能エネルギーの導入拡大にあたっては、気象条件による出力変動の調整が課題となっております。これまで当社では、再生可能エネルギーの導入拡大に向け、国の実証事業として、蓄電池技術を活用した出力変動対策に取り組んでまいりました。

今回の水素製造に関する研究は、こうした蓄電池による対策と同様の効果を期待して行うものです。

当社としては、この研究で、出力変動の大きい電気を水素製造に使用し、吸収することで、水素製造技術が蓄電池と同様に再生可能エネルギーの導入拡大に伴う出力変動対策として適用できるかの可能性を検証することとしております。

水素エネルギーは、省エネルギーやエネルギーセキュリティの向上、環境負荷の低減などの面から、我が国の重要なエネルギー源として期待されており、国においても水素社会の実現に向けた取り組みが進められております。当社としても、本研究を通じて、水素エネルギーに関する知見を獲得してまいりたいと考えております。

また、東北地方においても水素社会実現に向けた取り組みが進められておりますが、当社より本研究を通じて得られた知見や成果をご提供するなど、地域に寄り添った取り組みも進めてまいりたいと考えております。

以　上

（別紙）水素製造技術を活用した再生可能エネルギーの出力変動対策に関する研究